

## 「日本ネーミング大賞 2020」において、 「一番搾り」「午後の紅茶」が優秀賞を受賞！

～新たな世界観や、おいしさを連想させるネーミングに高い評価～

キリンホールディングス株式会社（社長 磯崎功典）は、特許庁の後援を受け、一般社団法人日本ネーミング協会（会長 岩永嘉弘）が主催し、今年初開催となる「日本ネーミング大賞 2020」（<https://j-naming-award.jp/>）において、「一番搾り」が「アルコール部門」で、「午後の紅茶」が「飲料部門」で、それぞれ優秀賞を受賞しました。

「日本ネーミング大賞」は、優れたネーミングを表彰することで、ネーミングの重要性を広く社会に発信し、産業の発展に寄与することを目的に、今年初めて開催されたアワードです。当アワードでは、2019年10月1日（火）から2020年9月30日（水）までの間に、日本国内で販売または提供されている「商品名」「サービス名」「社名」などのうち、商標登録され広く親しまれているものが対象で、2,016件の中から全15部門の優秀賞や審査員特別賞などが決定されました。

「一番搾り」「午後の紅茶」は、「ビール」「清涼飲料」それぞれで新しいカテゴリー価値を生み出した商品です。審査においては、新たな世界観やおいしさを連想させるネーミングに高い評価をいただきました。

### ●「キリン一番搾り生ビール」商品概要

1990年発売。「純粋さ」を極め、“一番搾り麦汁”だけを使用する「一番搾り製法」※を採用した、キリンビール株式会社のフラッグシップ商品です。「一番搾り」は、製法名をネーミングに採用した、日本で初めてのビールブランドです。

#### 受賞理由

「嗜好品としての味わいや、シズルを感じさせるネーミング」、「一番最初に搾った麦汁だけで造るビールはおいしいと感じさせられる提示力の高さ」など、複数の審査委員から高く評価いただき、「アルコール部門」で優秀賞を獲得しました。  
※麦汁ろ過工程において最初に流れ出る一番搾り麦汁を使う製法



### ●「キリン 午後の紅茶」商品概要

1986年発売。家庭でも手軽に飲むことができる、本格的なおいしさのペットボトル入りの紅茶飲料という新たなカテゴリーを創造した、キリンビバレッジ株式会社のフラッグシップ商品です。ネーミングには、日本にも英国のような紅茶の習慣を根付かせたいという思いを込めました。

#### 受賞理由

「紅茶飲料の一時代を築いたネーミング」、「英国のアフタヌーンティーに対する憧れを、うまく日本語に転換している」、「『午後』の一言で、どれほど世界観が変わるのかを感じた」、「『午後ティー』という愛称も、親しまれた証拠」など、複数の審査委員から高く評価いただき、「飲料部門」で優秀賞を獲得しました。



キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。